

岡山市の教育理念を実現するための6つの政策

本市では、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）第8条に掲げた市の責務を計画的かつ効果的に履行するために、平成25年1月に岡山市教育振興基本計画を策定し、岡山市都市ビジョン（新・岡山市総合計画）の教育部分の基本計画として位置付けました。今年度からは、この計画に基づいた教育行政を展開することにより、条例に掲げた本市の教育理念の実現に向けた取組を進めていきます。

豊かでしなやかな心をもった子どもの育成

岡山っ子育成プロジェクト 生涯学習プロジェクト 魅せる歴史と文化プロジェクト

豊かで多様な体験活動を通して、社会の一員としての自覚を促すとともに、規範意識や人権尊重の精神に根差した思いやりの心を養います。あわせて、地域の環境や地域に暮らす人との関わりを積み重ねる中で、我がまちを大切にす心情や国際社会に生きる実感を育てていきます。また、こうした感性や情緒面の育成だけでなく、判断力や克己心、忍耐力などを養うことで、高度情報化社会の中であって、溢れる情報に左右されることなく、自律した行動や責任ある態度がとれるよう、しなやかな心も育てていきます。

主体的に学び続ける子どもの育成

岡山っ子育成プロジェクト 生涯学習プロジェクト

質の高い就学前教育を保障して学びの基盤を確かなものにするとともに、発達段階に応じた段階的な指導を行うことで、自ら考え実践する確かな学力が身に付けられるよう支援していきます。また、教科学力だけでなく、多様な個性を受け入れて伸ばす豊かな学習資源を開発・提供することで、グローバル社会に対応できる総合的な学力の育成を目指します。さらに、一人一人を大切にしたいきめ細かな学びの支援を行い、すべての子どもが主体的に学び続けるための力や態度を養うことで、少子高齢化社会の中にあっても、社会全体の活性化を進める担い手を育てていきます。

健やかな体でたくましく生きる子どもの育成

岡山っ子育成プロジェクト

日常的な体力づくりの機会を充実させることで、健やかな体を主体的に育もうとする態度を養うとともに、生きる力を支える重要な要素である体力の向上、食習慣の充実を図っていきます。

建設的な人間関係を築く子どもの育成

岡山っ子育成プロジェクト

学び合い高め合う集団づくりの場を充実させることで、一人一人の健全な心と体を育みつつ、不登校・いじめ・暴力行為などを生まない、健全で建設的な人間関係づくりを進めていきます。また、人づくりを軸に、学校園と家庭・地域社会が連携して学びの広がりを目指す取組を進めることで、社会が人を育み、人が社会をつくる好循環の構築を目指します。

家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実

教育環境づくりプロジェクト

家庭や地域社会が責任をもって子どもたちに関わり、学校園や行政がその取組を支援することで、子育ての孤立を防ぐとともに、家庭や地域社会の教育力の向上を目指します。

学校園の組織力を生かした教育環境の充実

教育環境づくりプロジェクト

学校園の組織体としての力の向上を図ることで、効果的かつ効率的な学校運営を進めていきます。あわせて、個々の教職員の立場や経験に応じた支援も充実させることで、学校教育全体の質的な向上を目指します。さらに、安全・安心に配慮した施設や質の高い教育環境を整備することで、子どもも教職員も、学びに集中できる学校園づくりを進めます。

市勢の概要

1 はじめに

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、また、中四国地域の交通拠点に位置する本市は、明治22年6月の市制施行により、旧岡山藩城下町を中心に面積5.77k㎡、人口47,564人で発足した。

平成8年4月に中核市に移行し、平成17年3月には御津町・灘崎町との合併、さらに平成19年1月には隣接する建部町・瀬戸町との合併により、新「岡山市」が誕生。人口70万人を擁する中四国屈指の都市として、着実に発展を続けている。

21世紀を迎え、本格的な少子高齢化や長引く景気の低迷等、社会経済情勢の変化は著しく、今まさに地方分権推進の流れの中で、市民自治の原点に立ち返り、新たな課題に的確に対応しながら独自性・創造性を一層発揮していくことが求められている。

平成21年4月、全国で18番目の政令指定都市に移行した。本市は、交通の結節点という地の利、恵まれた自然、住環境、全国に誇る保健・福祉・医療、教育文化などの蓄積を生かしたまちづくりを進め、広い市域の一層の発展を支える情報通信基盤等を整備し、市民との協働によるまちづくりによる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」を都市の形とし、「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」を都市の使命として、人々の幸せに貢献する都市を創造していく。

教育委員会としては、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」(愛称：岡山っ子育成条例)を制定し、家庭・学校園・地域社会・事業者及び行政が協働して子どもの育成に取り組みながら学校教育の発展を目指すとともに、岡山市都市ビジョン(新・岡山市総合計画)をふまえた教育行政政策の体系を確立し、教育行政のより一層の充実を図っていく。



市長 高谷 茂 男

2 岡山市の地勢

岡山市は面積789.92k㎡という広域の都市である。

地形的には、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、北部は吉備高原に連なる山並みが、南部は地味豊かな沃野が広がっている。水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさとが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えた都市である。

3 人口・世帯数の推移

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
世 帯 数	286,324	289,786	293,089	295,901	299,162	308,003	309,300
人 口	695,879	697,882	699,776	700,498	702,052	703,674	703,083

(各年12月末現在、平成25年は4月末現在)